

【アプリケーション例】

モニタッチと温度調節計の接続によるメリット

- 鋳造機向けショット情報収集システム -

モニタッチと温度調節計を組み合わせると、こんなメリットがあります。

- ・温度調節計とプログラムレスで接続できるので、安価にシステム開発が行なえます。
- ・温度調節計の測定値を任意の周期でロギングし、収集した測定値をCSV形式で保存できます。
- ・あらかじめ用意された温度調節計用接続パート（コンポーネントパート）を使えば、モニタ/設定画面の作成工数を大幅に削減できます。

Before

ショットごとの製造データ（加圧データ、金型温度データ）を収集せず製品を製造していた



モニタッチと温度調節計で製造データを収集！

After

モニタッチに温度調節計を接続して、安価なシステム構築が可能！
製造データを収集して、品質のばらつき要因の分析・改善ができる！

情報収集システム

FTP接続で簡単に上位PCへファイル転送を実現！
ストレージを取り外しする手間も不要！



収集した鋳造データを日報として運用可能！



Ethernet

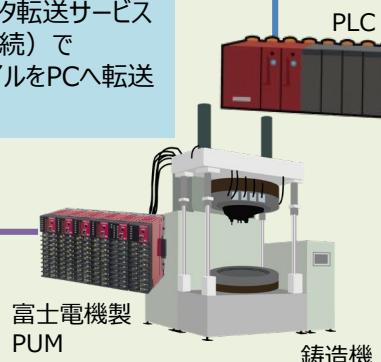
1. 各設備の金型温度・圧力をロギングし、CSVファイルで保存します。

2. V9のデータ転送サービス（FTP接続）でCSVファイルをPCへ転送します。



データ転送サービス
(FTPクライアント)

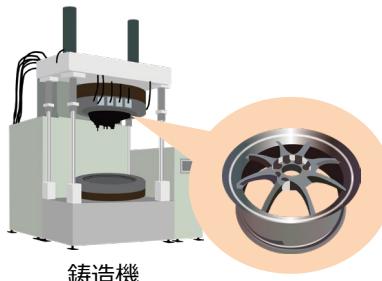
V9シリーズ



さらに鋳造設備を強力にバックアップ！

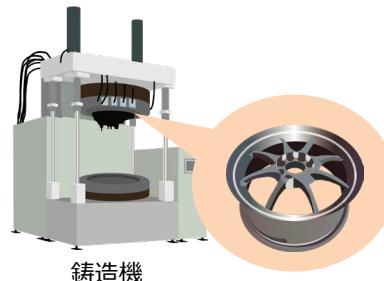
トレンドグラフの重ね書き機能を使って、ショットごとの波形を重ねて描画！
成型不良品を成型加工中に検出できます。

1ショット目



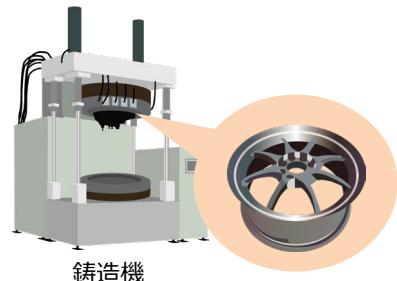
鋳造機

2ショット目

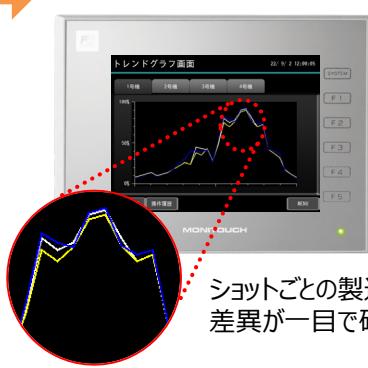
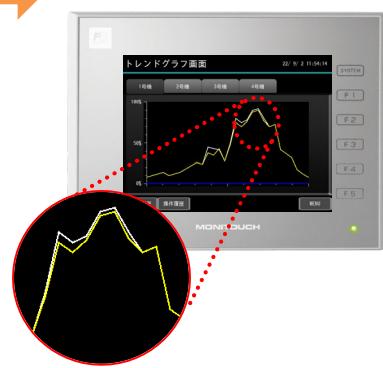


鋳造機

3ショット目



鋳造機



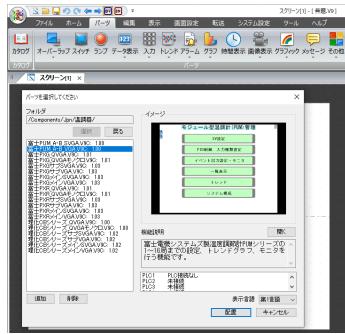
ショットごとの製造データの
差異が一目で確認できます

コンポーネントパーツで作画工数を削減！

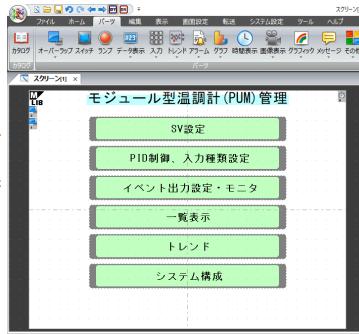
コンポーネントパーツとは

複数の部品を1つの機能としてまとめ上げたもの。

必要な機能やマクロが既に設定されているので、一覧から選んで配置するだけで様々な機能画面を作成できます。



パートを選んで
そのまま配置



本体に転送



富士電機製
PUM

富士電機製PUM用のコンポーネントパーツは、[こちら](#)からダウンロードできます。

SV値の設定やPV値のトレンド履歴表示を
簡単に実現！

【発行元】

発糸電機株式会社

モニタッヂコールセンター

TEL

E-Mail

URL

: 0120-128-220

: gijyutsu1@hakko-elec.co.jp

: www.hakko-elec.co.jp

その他のMONITOUCH EXPRESSは[こちら](#)

